

令和8年度 学校経営方針

下野市立南河内第二中学校

1 教育目標



人間性豊かで、意欲あふれる中学生

1 自ら考え学ぶ生徒（確かな学力）

2 思いやりのある生徒（豊かな人間性）

3 体力と気力をきたえる生徒（健康・体力）

知・徳・体の調和のとれた教育で「生きる力」を育成

2 目指す生徒像

- 主体的に考え、学び合いを通して互いに高め合える生徒
- 思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒
- 健康に関心を持ち、体力向上に励む生徒
- 社会に貢献し、地域に主体的に参画しようとする生徒

3 目指す教師像

- 生徒一人一人に教育的愛情を持ち、生徒の良さを引き出せる教職員
- 思いやりと誠実さがあり、自分の持ち味を発揮できる教職員
- 向上心があり意欲的に研修し、実践力を身に付けた教職員
- 自他の生命・人権を尊重し、誇りと自信を持って活動する教職員
- 保護者や地域とつながり、信頼される教職員

4 学校経営方針のポイント

学校は、学ぶことの喜びを味わう場であり、生徒が集団生活を通して人間関係を培いながら育ち合う場でもある。全職員で全生徒を育てるという共通認識を持ち、安心・安全な人的・物的な教育環境を調える。生徒の実態から、「学力向上」「当たり前」「体力の向上」「ふるさと（下野市へ）の愛着を深める活動」「安全」に重点を置いて学校経営にあたる。また、教職員は互いに切磋琢磨しながら、自らの資質・能力の向上に努める。

1. 学ぶ楽しさを実感できる授業実践に努める 「自ら学ぼう」

学習指導要領の趣旨を踏まえた質の高い授業の実践――目標の明確化と振り返りの定着

学業指導の充実――学習意欲を高める実践的・体験的な学習活動のある授業

活用力・探究力の育成――自分の考えを表現するなどの言語活動の充実

主体的・対話的で深い学び――互いに聴き合い伝え合う、学び合いのある授業の工夫

家庭との協力体制づくり――適切な学習課題の提示（家庭への学習情報の発信と連携）

2. ふれあいの喜びを実感し誰もが楽しく居心地のよい場所・活動をつくる「豊かな心を育てよう」

道徳科の授業の充実――他の教育活動と連携を図った道徳教育の実施

規範意識や倫理観の育成全校体制による組織的な対応

――組織的な生徒指導と教育相談の充実

特別支援教育の充実――特別支援教育の視点に立った学級経営

読書活動や情操教育の推進――読書の奨励と感性を育てる活動の充実

二中を誇りに思う心の醸成――生徒が計画し実行できる自治活動への適切な支援

3. 健康で豊かに生きる喜びを実感できる学校生活を目指す 「たくましく頑張り抜こう」

学校保健・給食委員会の充実――性に関する指導、薬物乱用防止教育、食育の推進

体力課題の改善――外遊びや体力づくりの奨励と運動量を確保した授業の実践

困難を乗り越えるたくましさ――地域が主催する行事への協力など地域との協働の推進

キャリア教育の推進――働く喜びを感じる活動や将来を見通した進路実現への支援

自分の命を守る生徒――実効性のある避難訓練の実施（危機回避能力の育成）

4. 家庭・地域とのつながりを実感できる教育活動に努める 「地域とつながろう」

地域とともにある学校づくりの推進

――SDGsの考えを取り入れた教育活動の推進

小中一貫教育の充実

地域のイベントや祭等への直接的・間接的参加を通じた地域の方々との交流

5. 教育専門職としての職能向上に努める

同僚性・協働体制の強化

校内研修の充実・危機意識の高揚・服務規律の徹底

保護者、地域と連携・協働し、安心感のある信頼される学校